

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	物理学ⅡA		
科目基礎情報							
科目番号	0030		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	物質化学工学科		対象学年	2			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	物理基礎、物理 (数研出版)						
担当教員	石田 善彦						
到達目標							
1. 仕事とエネルギーの関係を理解し問題を解くことができる。 2. 平面の運動について理解し問題を解くことができる。 3. 運動量の概念を理解し問題を解くことができる。 4. 剛体にかかる力の釣り合いの問題を解くことができる。							
ループリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	仕事とエネルギーの関係を理解し応用問題を解くことができる。		仕事とエネルギーの関係を理解し基礎問題を解くことができる。		仕事とエネルギーの概念が説明できない。		
評価項目2	平面の運動について理解し応用問題が解ける。		平面の運動について理解し基礎問題が解ける。		平面の運動について説明できない。		
評価項目3	運動量の概念を理解し応用問題が解ける。		運動量の概念を理解し基礎問題が解ける。		運動量の概念を説明できない。		
評価項目4	剛体にかかる力の釣り合いについて理解し応用問題が解ける。		剛体にかかる力の釣り合いについて理解し基礎問題が解ける。		剛体にかかる力の釣り合いについて説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	覚えるのではなく理解して定着させることに主眼を置く。						
授業の進め方・方法	講義および実験						
注意点	質問等は授業時間や放課後等できるだけ早く解決するように。						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	エネルギー(1)		仕事とエネルギーの関係が分かる		
		2週	エネルギー(2)		エネルギー保存の問題が解ける		
		3週	エネルギー(3)		エネルギー保存の応用問題が解ける		
		4週	平面の運動(1)		平面のベクトルが分かる		
		5週	平面の運動(2)		平面の運動の問題が解ける		
		6週	平面の運動(3)		平面の運動の応用問題が解ける		
		7週	問題演習				
	8週	中間試験					
	2ndQ	9週	剛体とは		剛体について理解できる		
		10週	剛体にはたらく力のつりあい(1)		剛体にはたらく力の釣り合いについて理解できる		
		11週	剛体にはたらく力のつりあい(2)		剛体にはたらく力の釣り合いについて理解できる		
		12週	剛体にはたらく力の合力(3)		剛体の問題が解ける		
		13週	運動量		運動量が理解できる		
		14週	問題演習				
		15週	期末試験				
16週		答案返却、解説、アンケート					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0